

民間提案型普及・実証事業 インドネシア国 下水管路建設における推進工法技術の普及・実証事業

企業・サイト概要

- 提案企業: 株式会社イセキ開発工機
- 所在地: 東京都港区
- サイト: インドネシア国ジャカルタ市
- 相手国実施機関: ジャカルタ特別州政府・ジャカルタ特別州下水道公社
- 事業実施期間: 2013年9月～2014年6月

●●● インドネシア国の開発課題 ●●●

合致

●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

地下水インフラの整備

- 大都市の下水道(汚水、浸水対策)、電力・通信、水道等の地下インフラが十分に整備されていない。
- 地下インフラの整備に際して、慢性的な交通渋滞を悪化させずに工事を進めることが求められている。
- 工事公害・建設廃棄物の少ないクリーンな建設技術が求められている。

推進工法の掘進機

- 広範な土質条件下での掘削が可能。
- 長距離・カーブ推進が可能で、地上の土地占有を最小化。
- 地上操作室から遠隔操作が可能で安全性が高い。
- 最小限の地上開削により、騒音や廃棄物を最小化。

提案企業の準備状況

- 平成24年度外務省委託費による「途上国政府への普及事業」において、ジャカルタの下水管路整備に向けた課題に対して、推進工法技術の適用が有効であることが確認された。
- 同普及事業を通じて、インドネシアの公共事業に同工法を積極採用してもらうために、機材の実証を通じたさらなる普及活動が必要であること、また本格的な展開に向けて、現地でのメンテナンス体制の構築やビジネスモデルの開発が求められることを確認した。

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 提案製品によるデモンストレーション工事の実施、同工事を通じた推進工法の優位性のPR。
- デモ工事におけるカウンターパート人材のOJTや本邦受入活動を通じた、機材の適切なメンテナンスのための人材育成。
- ビジネス展開のための資機材のサプライチェーン検証、ビジネス拠点の選定、及びビジネスモデルの開発。



現時点でのビジネス展開

- インドネシア公共事業省が発注する放水路敷設案件(50億円規模)に推進工法の掘進機及びその運用技術を提供。直接の受注者はインドネシアの国営施工会社(PT. Wijaya Karya)であるが、平成24年度外務省委託費による「途上国政府への普及事業」を受注した共同企業体が、PT. Wijaya Karyaと掘進機の販売及び指導員派遣の契約(約16億円)を締結(2014年1月)。